

白水学区 津波ハザードマップ

(千年に一度あるいはそれよりももっと発生頻度が低いが、仮に発生すれば甚大な被害をもたらす地震を想定したものです。)

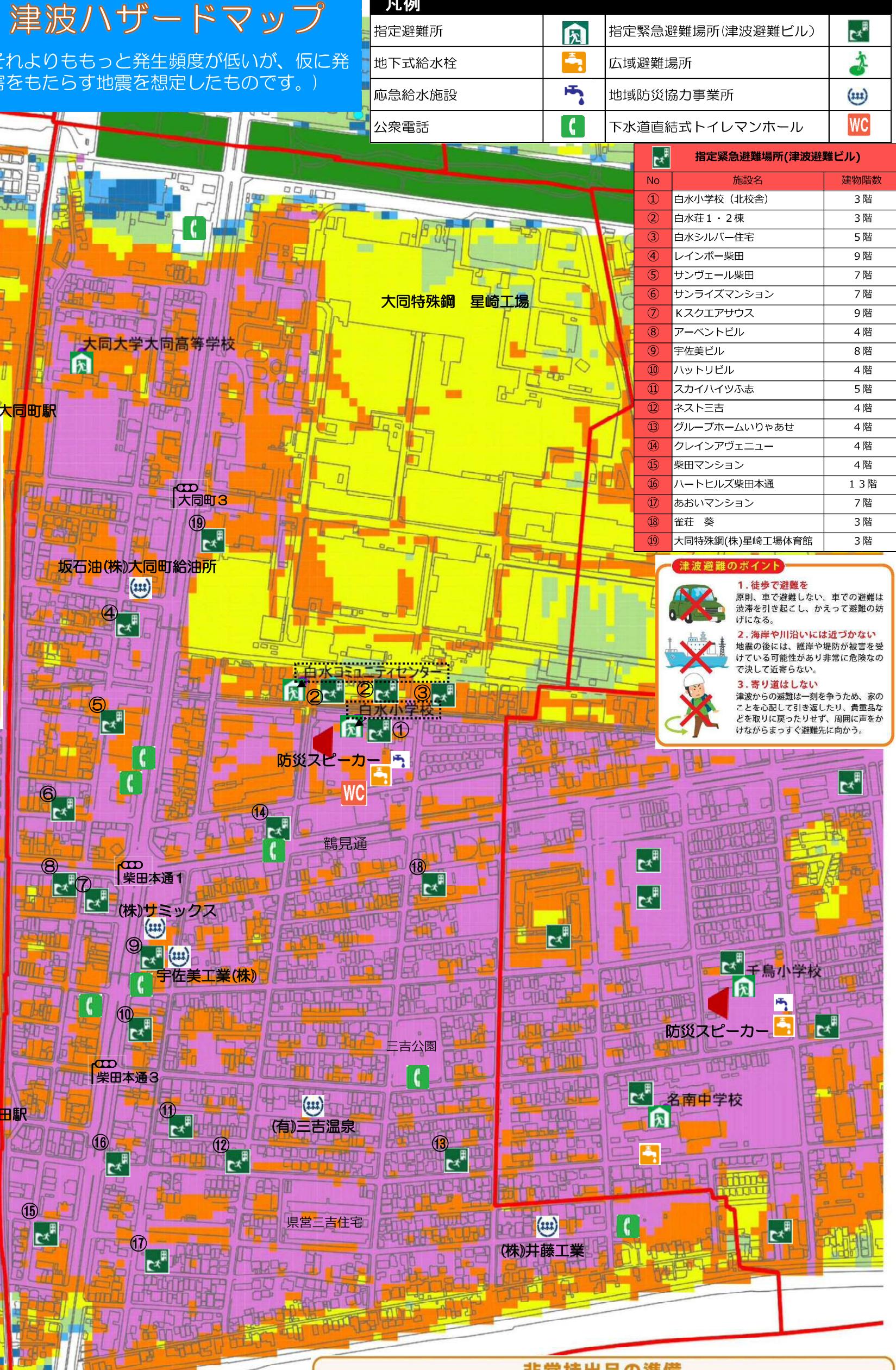
凡例

指定避難所		指定緊急避難場所(津波避難ビル)	
地下式給水栓		広域避難場所	
応急給水施設		地域防災協力事業所	
公衆電話		下水道直結式トイレマンホール	

最大浸水深	
■ 2.0m以上	
~3.0m未満	
■ 1.5m以上	
~2.0m未満	
■ 1.0m以上	
~1.5m未満	
■ 0.5m以上	
~1.0m未満	
■ 0.3m以上	
~0.5m未満	
■ 0.3m未満	
□ 浸水なし	

情報収集収集方法①

- きずなネット防災情報
地震や大雨などによる災害時の避難に関する情報をメールでお送りします。
[m.sagai@cep.jpへ](mailto:m.sagai@cep.jp)
空メールして登録!
- 名古屋市水防情報システム(NICOS)
名古屋市内及び周辺部の雨量や河川水位の状況などを確認することができます。
- 災害用伝言ダイヤル 171
災害時には以下の番号で被災地の人へ伝言が残せます。
171 + 1 + 相手の電話番号
伝言を録音(30秒以内)
171 + 2 + 相手の電話番号
伝言が再生
※いずれかの場合も通話料や通信料がかかる場合があります。



指定緊急避難場所(津波避難ビル)

No	施設名	建物階数
①	白水小学校(北校舎)	3階
②	白水荘1・2棟	3階
③	白水シルバー住宅	5階
④	レインボー柴田	9階
⑤	サンヴェール柴田	7階
⑥	サンライズマンション	7階
⑦	Kスクエアサウス	9階
⑧	アーベントビル	4階
⑨	宇佐美ビル	8階
⑩	ハットリビル	4階
⑪	スカイハイツふ志	5階
⑫	ネスト三吉	4階
⑬	グループホームいりやあせ	4階
⑭	クレインアヴェニュー	4階
⑮	柴田マンション	4階
⑯	ハートヒルズ柴田本通	13階
⑰	あおいマンション	7階
⑱	雀荘葵	3階
⑲	大同特殊鋼(株)星崎工場体育館	3階

津波避難のポイント

- 徒歩で避難を
原則、車で避難しない。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになる。
- 海岸や川沿いには近づかない
地震の後には、護岸や堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険なので決して寄らない。
- 寄り道はしない
津波からの避難は一刻を争うため、家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、周囲に声をかけながらまっすぐ避難先に向かう。

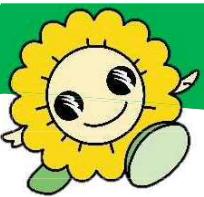
非常持出品の準備

いざという時すぐに持ち出せるよう、非常持出品を準備しておきましょう。	
【備蓄品の例】災害に備えて用意しておきたいもの	
7日分程度用意しましょう	
命をつなぐために用意しておきたいもの	
○保存が続く食品(自分が食べやすいもの) ○常備薬(持病の薬を含む) ○飲料水(ペットボトル)	
おきたいもの	
1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。	
◆防災用品	
○給水用のボリ容器・バケツ ○ロープ ○バーナー ○のこぎり・工具など	
◆燃料	
○カセットコンロ(予備のボンベ含む) ○圆形燃料	
◆寝具等	
○毛布 ○寝袋 ○キャンプ用テント	
◆便用具	
○ドライシャンプー	

◆ 食器類	○ ハサミ・スプーン ○ 紙皿・紙コップ
◆ 便用具	○ 車載用ラップ ○ 使い捨てカロロ ○ 雨具 ○ 手動携帯電話充電器
◆ 医療用品	○ 三角さん ○ 吸引・ガーゼ ○ ばんそうこう ○ 消毒薬 ○ ウェット・ティッシュ(ティッシュ) ○ 印鑑など
◆ 貴重品	○ 現金(小銭も必要) ○ 財布 ○ 金通帳の写し ○ 健康保険証・免許証の写し ○ カード類 ○ 認印・印鑑など
◆ 衣料品	○ 衣類(着替え) ○ タオル(大小2種類)
◆ その他(個人的に必要なもの)	○ 粉ミルク・生理用品 ○ 抗生物質など

◆避難先へ安全に避難するための5つのポイント

- ①ガス・水道の元栓を締め、ブレーカーを切る!
- ②一緒に逃げよう 近所への声かけ!
- ③高齢者や障がいのある方などの避難誘導を妨げない!
- ④原則徒歩で!
(走避抑止・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない)
- ⑤木造住宅密集地、がけ地や川の近くは避けて!



震災時の行動要領

保存版



白水学区の災害リスク

南海トラフ巨大地震は30年以内に発生する確率が70%～80%といわれています。白水学区は津波の浸水が想定される地域です。名古屋港への津波到達時間は最短で96分と予測されており、津波の遡上はその後から始まります。この時間を最大限に使い、みんなで助け合い避難しましょう。

災害の種類	程度
震度	6強
液状化の可能性	大
津波の浸水深	2.0m～3.0m
津波の浸水開始時間	120分～

もし南海トラフ巨大地震が発生したら…

地震発生

①地震発生！まずは身の安全を確保



- 頭を守り、家具やガラスから離れる



②揺れが収またら火の始末

しっかり火の始末で火災阻止！

- 台所やストーブ、ろうそくなどの火の始末をする
- 避難をする際にはブレーカーを落とし、水道とガスの元栓を閉める

火が出たらすぐに初期消火！

- 「火事だ！」と大声で叫び、隣近所に知らせる
- 119番に通報して、消火器や水バケツなどにより初期消火

③我が家への安全確認！

- ガラス片やとがった物が散乱しているため、靴やスリッパを履く

あわてて外に飛び出さない！

- むやみに外に出るのは危険
- 周囲の状況を良く確かめて、落ち着いて行動する

出口の確保をする！

- 余震や火災に備え、まずは出口を確保する

正しい情報で行動する

- テレビやスマートフォン、ラジオなどを使って正しい情報を収集する
- 報道機関や市役所、消防署、警察からの情報に注意する
- 災害時はデマなどに惑わされやすくなるので注意する



④大津波警報発表！避難勧告発令！

地域で助け合い

- 町内会で安否確認を実施する
- 地域で連携し、倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人を救出する
- 火が出ていれば、可能な範囲で初期消火活動をする

緊急避難開始！

- ひとりでは避難が難しい方などの避難誘導をする
- 原則徒歩で避難する
- 非常持出品を携行する



浸水想定区域外や津波避難ビルなど高い建物へ避難